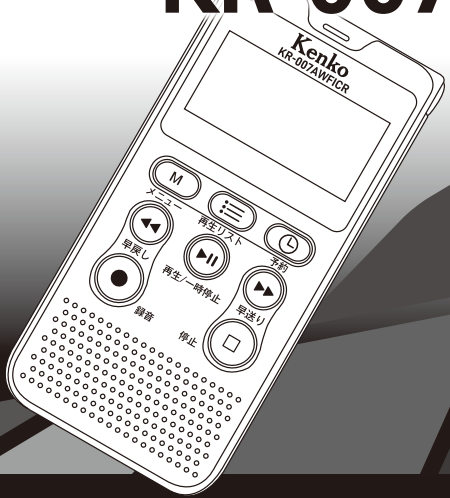
Kenko

ケンコー 簡易集音機能搭載ラジオボイスレコーダー

KR-007AWFICR

取扱説明書



このたびは「KR-007AWFICR」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

本書の早見表

ご使用の前に
電源のオン/オフ

▶P.17

ご使用の前に
日付/時刻の設定

▶P.19

音声を録音する
音声

▶P.37

電話を録音する
電話

▶P.43

音声を再生する
再生

▶P.44

ラジオを聴く
FMラジオ

▶P.49

ラジオを録音する
ラジオ録音

▶P.56

予約を設定する
予約録音

▶P.61

周りの音声を増幅する
簡易集音

▶P.66

設定をする
設定

▶P.68

音楽データの取り込み
パソコンから

▶P.87

故障かなと思ったら
Q&A

▶P.88

目次

はじめに 06

安全上のご注意 07

製品の紹介 10

セット内容 …… 10
各部の名称 …… 11

ご使用の前に 13

ストラップの取り付け …… 13
電池の取り付け …… 14
アルカリ乾電池に関する安全上のご注意… 16
電源のオン／オフ …… 17
モード変更 …… 18
日付／時刻の設定 …… 19
　時間形式を設定する …… 20
　日付けを設定する …… 21
　時間を設定する …… 22
micro SDHC/SDXCメモリーカードを使用する …… 23
micro SDHC/SDXCメモリーカードを使用する前に… 24
　フォルダ名を変更しない …… 25
micro SDHC/SDXCメモリーカードを取り付ける …… 26
メモリーカードのフォーマット …… 28
ロックスイッチの使い方 …… 31
音量を調節する …… 32
ステレオイヤホンの使い方 …… 33
FMラジオのアンテナについて …… 34
音声ファイルの液晶画面表示 …… 35
メモリ選択 …… 36

録音する 37

音声を録音する …… 37
録音設定 …… 38
　マイク感度 …… 39
　録音品質設定 …… 40
　無音スキップ録音 …… 41
　分割録音 …… 42
　電話を録音する …… 43

再生 44

再生する …… 44
リピート（繰り返し）再生 …… 46

目次

録音した音声を削除する 47

削除 …… 47
フォーマット …… 48

ラジオ機能（FMラジオ） 49

FMラジオを聴く …… 49
オートサーチ …… 51
登録（プリセット） …… 52
登録局を削除します …… 54
全ての登録局を削除します …… 55
FMラジオを録音する …… 56
録音したFM番組ファイルを再生する …… 57

ラジオ機能（AMラジオ） 58

AMラジオを聴く …… 58

予約（タイマー）録音 61

予約録音 …… 61

簡易集音 66

簡易集音 …… 66

モード設定 68

モード設定 …… 68
ラジオ設定 …… 68
再生メニュー …… 69
設定 …… 70
本体設定 …… 71
日付け／時間 …… 71
自動オフ …… 72
メモリの初期化 …… 73
録音ランプ …… 73
操作音 …… 74
メモリ選択 …… 75
システム関連 …… 76
メモリ使用状況 …… 76
FWバージョン …… 77
出荷時設定 …… 78
画面表示 …… 79
言語 …… 79
コントラスト …… 80
バックライト …… 81

目次

録音 …… 82
再生方法 …… 83
リピート …… 83
ファイルの保護 …… 85

AV機器との接続 86

AV機器との接続 …… 86

パソコンとの接続 87

パソコンとの接続 …… 87

故障かなと思ったら 88

こんなときは …… 88
電源が入らない …… 88
音声がイヤホンから聞こえない …… 88
FMラジオの音が良く聞こえない …… 89
AMラジオの音が良く聞こえない …… 89
録音ができない …… 90
再生ができない …… 90
ハウリング(ピーピー音)がする …… 91
操作ができない …… 91

仕様 92

製品仕様 …… 92
パソコン環境 …… 93
電池寿命 …… 95

保証規定 98

はじめに

このたびは、「KR-007AWFICR」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な録音の前には必ず事前にテスト録音を行ってください。

■著作権などにお気をつけください。録音を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような録音は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた録音データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図 写、真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■本製品を長時間使用すると本体が熱くなりますが これは異常ではありません

⚠安全上のご注意　必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠ 危険	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。
⚠ 警告	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危険

■可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。
引火・爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの 加工および、火中投入などは行わないでください。
発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠安全上のご注意　必ずお読みください

⚠ 警 告

■イヤホン使用時、大音量で再生しないでください。永久聴覚障害の原因となります。

■本製品の使用中に何らかの聴力支障が表れた場合、ただちに使用を中止してください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。
製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■本製品に何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。
電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手で本製品を触らないでください。

■本製品の分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。
内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。
事故の原因になります。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠安全上のご注意　必ずお読みください

⚠ 注 意

■本製品は医療用機器ではございません。

■MRI(磁気共鳴画像診断装置)を受けるときには必ず本製品を外してください。

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所
●温度・湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。

■本製品を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。
故障の原因になります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■録音内容、使用環境および電池により記録可能時間が減少する場合があります。

■本体が汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、クリアな録音ができない場合があります。

製品の紹介

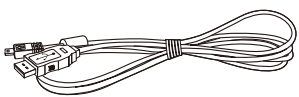
セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

本体

ステレオイヤホン

イヤホン型マイク



USB-PC接続ケーブル

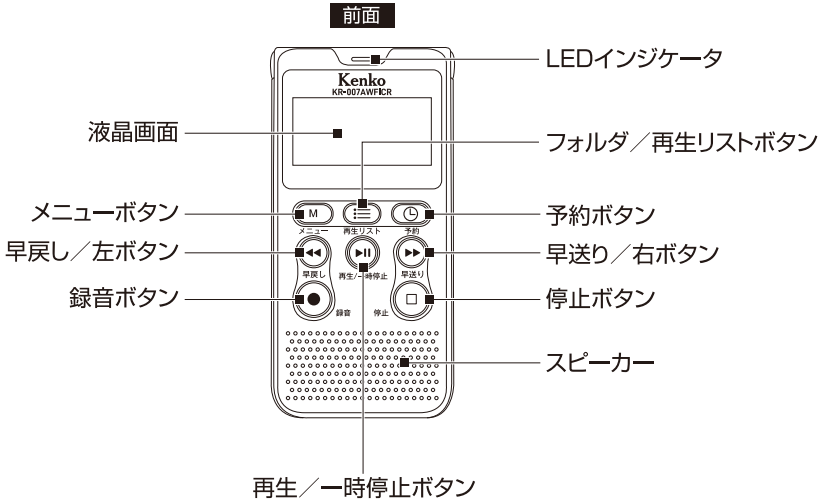
ストラップ

取扱説明書（本書）

※形状は異なる場合があります。

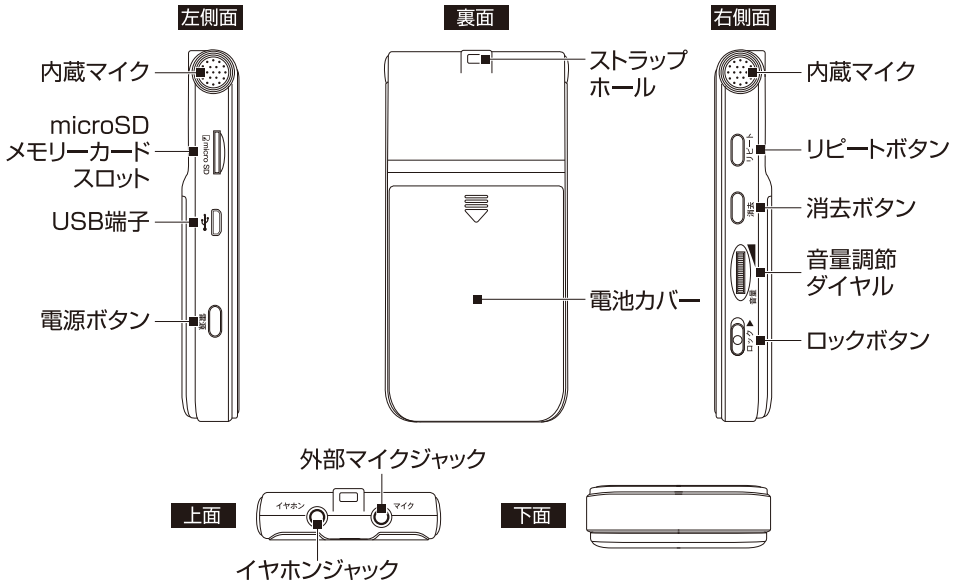
製品の紹介

各部の名称


前面
Kenko
KR-007AWFICR
LEDインジケータ
液晶画面
フォルダ／再生リストボタン
メニューボタン
予約ボタン
早戻し／左ボタン
早送り／右ボタン
録音ボタン
停止ボタン
スピーカー
再生／一時停止ボタン
M
メニュー
再生リスト
予約
早戻し
再生／一時停止
早送り
録音
停止

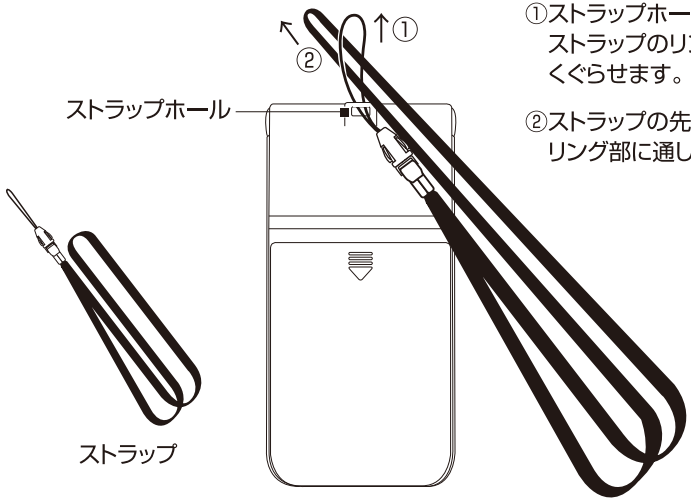
製品の紹介

各部の名称


左側面
裏面
右側面
内蔵マイク
microSD
メモリーカード
スロット
USB端子
電源ボタン
ストラップ
ホール
電池カバー
内蔵マイク
リピートボタン
消去ボタン
音量調節
ダイヤル
ロックボタン
外部マイクジャック
上面
イヤホン
マイク
イヤホンジャック
下面

ストラップの取り付け

付属のストラップを使用する場合、
下の図を参考にしてストラップホールに取り付けてください。



①ストラップホールに
ストラップのリング部を
くぐらせます。

②ストラップの先端を
リング部に通して締め付けます。

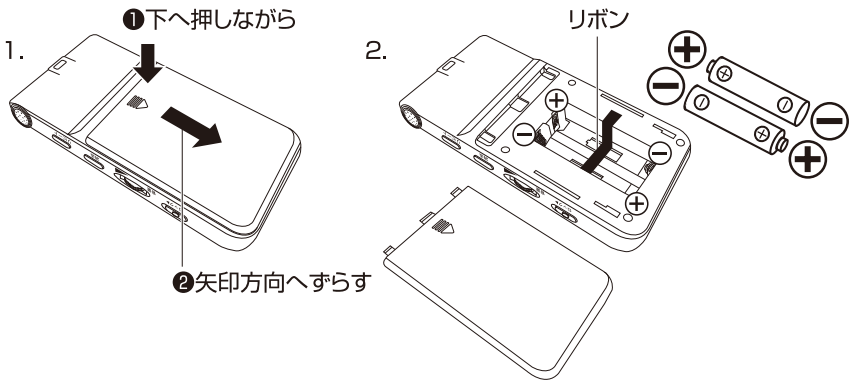
ご使用の前に

電池の取り付け

1. 電池カバーを矢印方向にスライドさせて取り外します。

2. 下図を参考に、⊕⊖方向に注意して、電池室のリボンが下になるようにして
   単4形アルカリ乾電池をセットします。

3.電池カバーを元に戻します。



ご使用の前に

● 電池を本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
● 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。
● 電池は新旧や種類の違うものを一緒に使わないでください。

◆ 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

電池残量は充分です。

電池の残量は半分程度です。

電池の残量がありません。電池を交換してください。

◆ 単4型アルカリ乾電池をご使用ください。
◆ 電池を本機の中に入れたまま長期間保管すると、電池が消耗します。
本機を長期間使用しない時は電池を必ず取り出してください。
◆ 本機の操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池、二次電池は使用できません。
◆ 電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
本機を長時間使用すると電池および本体が熱くなりますが、
これは異常ではありません。

ご使用の前に

アルカリ乾電池に関する安全上のご注意

⚠ **警 告** 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電、⊕⊖の逆方向にセットしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐに本機から取り出してください。

②本機は電源が切れていても微弱電流が流れています。
長期間（およそ1ヶ月以上）本機を使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。

④乾電池を充電しないでください。

⑤被覆のはがれた電池は使用しないでください。

⑥取り扱いを誤ると電池の液もれにより火災や周囲汚損の原因になります。

⑦液もれした電池は使用しないでください。

⑧使用済みの乾電池は、お住いの自治体が定めた方法で処分してください。

電源のオン／オフ

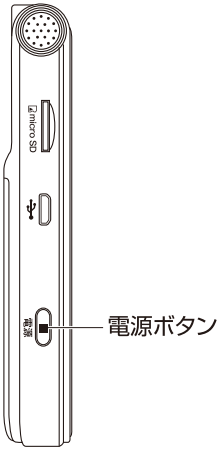
1. 電源ボタンを約2秒間長押しします。
   はじめてお使いになる場合、または電池を75分以上抜いた場合、
   日付設定画面 で起動します。

2. P.19「日付／時刻の設定」に従って日時設定してください。
   起動時、日付設定せずに約10秒経つと、
   ラジオモード（ラジオのアイコンが表示された状態）になります。

3. 電源ボタンを約4秒間長押しすると電源がオフになります。

● 日時設定は録音ファイル名や予約録音に使用されますので
本機の日時を正確に合わせてください。

◆ 長押しとは、そのボタンを押し続けることです。
◆ 電源オフは、液晶画面が表示されているよう
操作してから行ってください。

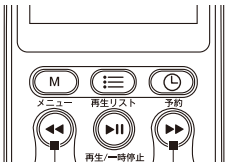


2.

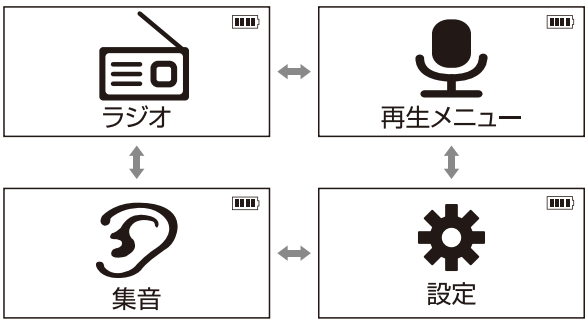
モード変更

本機のモードを変更します。

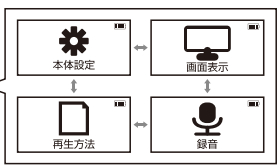
1. 電源を入れると ラジオモード になります。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押すごとにモードが変更されます。



左ボタン　右ボタン



※下図は 設定 内の
階層の説明です。



設定により表示されるアイコンは異なります。

日付／時刻の設定

本機をご使用の前に、日付と時刻の設定を行います。

1. はじめてお使いになる場合、
   または電池を75分以上抜いた場合、
   電源を入れると 日付設定画面 で起動します。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 確定 を選択し、▶II ボタンを押します。
   日付け／時間 を選択し、▶II ボタンを押します。
   P.20「時間形式を設定する」に進んでください。

3. 日時設定をやり直すには、ラジオモード から
   ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 設定 を選択し、
   ▶II ボタンを押します。
   本体設定 と表示されます。再度、▶II ボタンを押し、
   サブメニュー を表示します。

4. 日付け／時間 を選択し、▶II ボタンを押します。
   P.20「時間形式を設定する」に進んでください。

1.

2.

4.

設定により表示されるアイコンは異なります。

時間形式を設定する

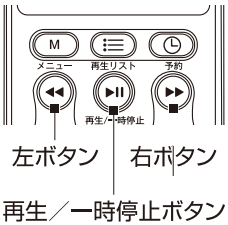
1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 12/24h を選択し、
   ▶II ボタンを押し、サブメニュー を表示します。

2. 下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   12時間 : 時間を12時間表示します。

   24時間 : 時刻を24時間表示します。

3. サブメニュー に戻ります。



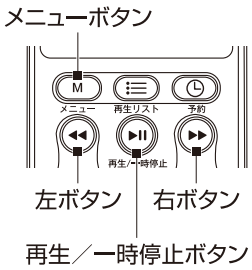
1.

2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

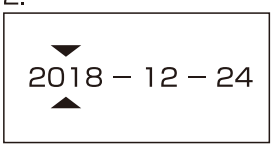
日付けを設定する

1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 日付け を選択し、
   ▶II ボタンを押し、サブメニュー を表示します。
2. 「年」を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
   ▶II ボタンを押して「月」に移行します。
3. 月 を設定します。右または左ボタンを押して設定し、
   ボタンを押して「日」に移行します。
4. 日 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定します。
5. 年／月／日 の設定終了後、
   M ボタンを押して決定します。
   サブメニュー に戻ります。



1.

2.

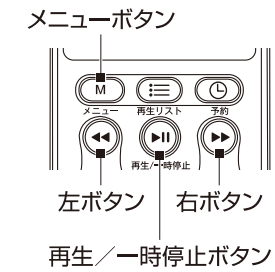


 設定により表示されるアイコンは異なります。

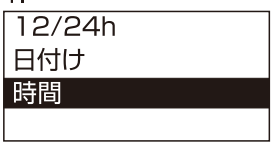
時間を設定する

1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 時間 を選択し、
   ▶II ボタンを押し、サブメニュー を表示します。
   ここでは「12時間」表示で説明します。
2. 時間 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
   ▶II ボタンを押して「分」に移行します。
3. 分 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
   ボタンを押して「AM/PM」に移行します。
4. AM/PM を設定します。
   ▶II ボタンを押して設定します。
5. 設定終了後、(M) ボタンを押して決定します。
   サブメニュー に戻ります。

◆ 一定時間操作を行わない場合、サブメニューに戻ります。
◆ 日付け／時刻は、ファイルデータに記録されますので、できるだけ正確に設定してください。



1.



2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

micro SDHC/SDXCメモリーカード(別売／市販品)を使用する

本機で録音された音声ファイルは、内蔵メモリの他、
micro SDHC/SDXCメモリーカードにも記録されます。

micro SDHC/SDXCメモリーカード(別売)を本機左側面の
micro SDHC/SDXCカードスロットにセットしてください。

micro SDHC/SDXC
メモリーカード

(図はmicro SDHCメモリーカードのイメージ図です。)

● 本機に使用できるメモリーカードの仕様は、micro SDHCメモリーカード4GB～32GB(スピードクラス6以上)、micro SDXCメモリーカード64GBまでです。
その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

ご使用の前に

micro SDHC/SDXCメモリーカードを使用する前に

◆新しいmicro SDHC/SDXCメモリーカードは使用前に本機でフォーマット（初期化）してください。P.28「メモリカードのフォーマット」をご覧ください。

◆micro SDHC/SDXCメモリーカードをセットすると、本機はmicro SDHC/SDXCメモリーカードを認識します。

◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.7～9に記載されていますので必ずよくお読みください。

- パソコンと本機を接続し、録音したデータをパソコンに転送している最中や、録音中または再生中にmicro SDHC/SDXCメモリーカードを本製品から引き抜かないでください。録音した音声データ、micro SDHC/SDXCメモリーカードおよび本製品が破損する恐れがあります。
- 本製品にはmicro SDHC/SDXCメモリーカードをフォーマット（初期化）する機能がついています。フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されているデータは全て消去されますのでご注意ください。

◆次ページの注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

フォルダ名を変更しない

パソコンでmicro SDHC/SDXCメモリーカードに保存されている音声データのフォルダ名を変更したり、本製品で記録された音声データ以外のファイルを書き込まないでください。本製品で認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

- micro SDHC/SDXCメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、microSDHC/SDXCメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、本製品の誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- micro SDHC/SDXCメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- micro SDHC/SDXCメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。（フォーマットすると、記録されてる音声データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。）
- 電極部（金色の金属部分）が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

micro SDHC/SDXCメモリーカードを取り付ける

micro SDHC/SDXCメモリーカードは本機左側面のmicro SDHC/SDXCメモリーカードスロットにセットします。

1. micro SDHC/SDXCカードスロットに、micro SDHC/SDXCメモリーカードの接触面が本機の前面側になるようにして、micro SDHC/SDXCメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
2. micro SDHC/SDXCメモリーカードを取り外す時は、micro SDHC/SDXCメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。micro SDHC/SDXCメモリーカードが少し飛び出ます。

micro SDHC/SDXCメモリーカードスロットに
カードの接触面が本機の前面側になるように挿入。

ご使用の前に

◆ 新しいmicro SDHC/SDXCメモリーカードを使用される際は、
あらかじめmicroSDHC/SDXCメモリーカードのフォーマット（初期化）（P.28参照）を
してください。

- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。
無理に挿入しないでください。
- micro SDHC/SDXCメモリーカードを本機から着脱する場合は、必ず本機の電源
をオフにした状態で行ってください。
- すべてのmicro SDHC/SDXCメモリーカードで動作を保証するものではありません。

メモリーカードのフォーマット

microSDHC/SDXCメモリーカードをフォーマット（初期化）する機能です。

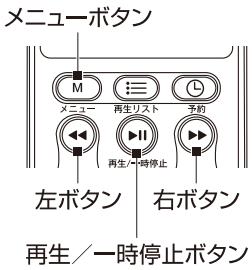
- micro SDHC/SDXCメモリーカードを本機で使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- micro SDHC/SDXCメモリーカードを使用する場合は、新品のmicro SDHC/SDXCメモリーカードをご用意いただき、本機でフォーマットした後は、本機専用でご使用ください。
- 既に他の機器で使用されたmicro SDHC/SDXCメモリーカードは使用しないでください。
- フォーマットを行うmicro SDHC/SDXCメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- micro SDHC/SDXCメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。（パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。）
- お使いのmicro SDHC/SDXCメモリーカードの容量等によりフォーマット処理に時間がかかることがあります。

●次ページに続く

ご使用の前に

●前ページからの続き

1. 電源をオンにします。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 設定 画面を表示します。
3. ▶II ボタンを押して 本体設定 を選択し、
   ▶II ボタンを押します。
4. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して メモリの初期化 を選択し、
   ▶II ボタンを押します。



●次ページに続く

2.

3.

4.

●前ページからの続き

5. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 内部メモリ初期化 / SDを初期化 のいずれかを選択します
⏯ ボタンを押し、選択します。

内部メモリ初期化 ：内部メモリをフォーマットします。

SDを初期化 ：micro SDHC/SDXCメモリカードをフォーマットします。

6. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して下記のいずれかを選択します。

確　定 ：フォーマットします。

キャンセル ：フォーマットしません。

⏯ ボタンを押して決定します。

7. M ボタンを長押しすると ラジオモード に戻ります。

5.

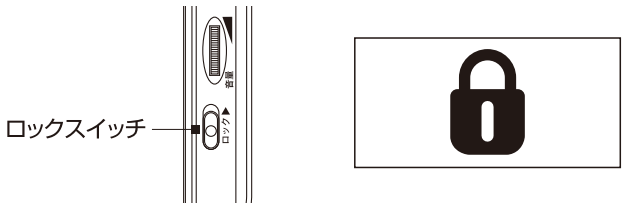
6.

! ● 初期化後は消去されたデータは元に戻りませんのでご注意ください。

 設定により表示されるアイコンは異なります。

ロックスイッチの使い方

ロックスイッチを音量調整ダイヤル側にスライドさせるとキー操作ができなくなります。
キー操作をしても液晶画面に アイコンが表示されます。

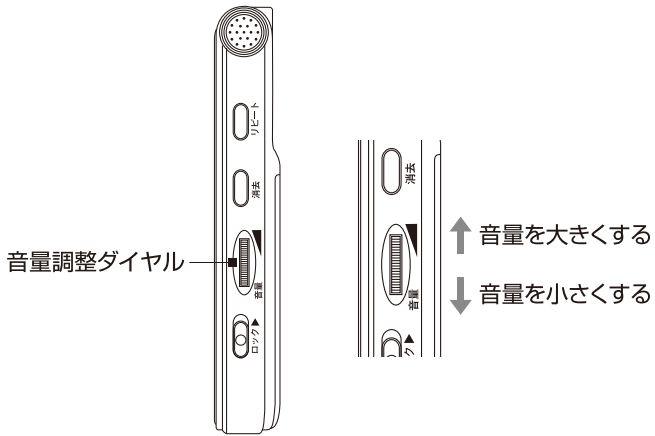


◆ 誤操作を防止します。
◆ ロックスイッチをオンにすると全ての操作が行えません。

● 電源オンはできますので電池の消耗にご注意ください。
● キー操作しても動作しない場合は、ロックスイッチが有効になっていないか確認してください。

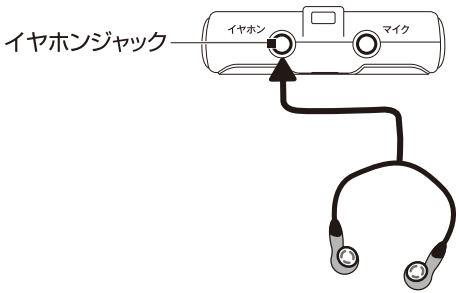
音量を調節する

音量調整ダイヤルをスライドして音量を調節します。



ステレオイヤホンの使い方

イヤホンジャックに差します。



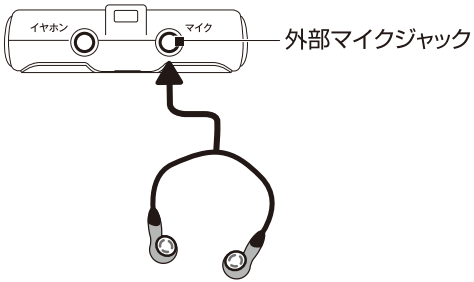
◆イヤホン使用時には、スピーカからは音が出ません。
◆イヤホン型マイクには、イヤホン機能がありませんのでご注意ください。

※形状は異なる場合があります。

FMラジオのアンテナについて

FMラジオをスピーカで聞く場合は、イヤホンを外部マイクジャックに差してください。
アンテナの替わりになります。

一部地域、放送局によってはFMのスピーカー出力は、イヤホンで聞くより聞きにくい場合があります。このような場合は、イヤホン出力にしてお聞きください。



◆ 地域の電波状況により、受信感度が低くなる場合があります。
◆ 山間部、高い建物が立ち並ぶところ、建物の内部では電波が弱まります。

※形状は異なる場合があります。

音声ファイルの液晶画面表示

※上記はMP3で録音したときの例です。
録音品質設定によってはWAVの場合もあります。

1	A	フォルダ名
2	高	録音品質設定（高音質）
3	VA	無音スキップ録音（有効）
4		マイク感度（高／H）
5		電池残量
6	001/008	ファイル番号／総ファイル数
7	181224_005.MP3	ファイル名
8	00:15:35	再生時間
9	00:33:55	録音時間／録音可能時間
10	■ ▶ ❚❚ ● ⏸	停止／再生中／一時停止 録音中／録音一時停止

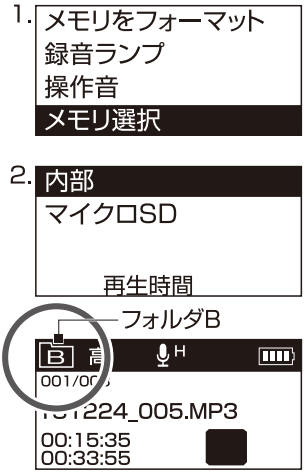
設定により表示されるアイコンは異なります。

メモリ選択

本機に音声ファイルを保存する際の保存先を設定します。

ラジオモード ▶ 設定 ▶ 本体設定

1. メモリ選択 を選択し、⏯ ボタンを押します。
2. ⏮⏭ ボタンを押して 内部 ／ マイクロSD の いずれかを選択し、⏯ ボタンを押して決定します。
   - 内部 ：内部メモリに音声ファイルを保存します。 フォルダA･B･C･D
   - マイクロSD ：micro SDHC/SDXCメモリーカードに 音声ファイルを保存します。 フォルダA･B･C･D
3. 1.の画面に戻ります。 M ボタンを長押しすると ラジオモード に戻ります。
4. ☰ ボタンを押すごとに、指定したメモリのフォルダが A→B→C→Dと変更されます。



◆ micro SDHC/SDXCメモリーカード（別売／市販品）が挿入されていない場合、マイクロSDを選択すると、「カード未挿入」と表示され、選択ができません。P.23～P.28をご覧ください。

◆ 初期設定は内部になっています。

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

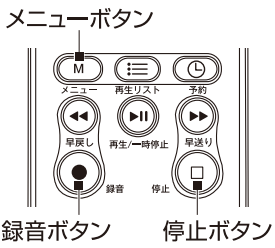
音声を録音する

1. ラジオモード にします。
   音声ファイルを記録するメモリを下記手順で選択します。
   設定 ▶ 本体設定 ▶ メモリ選択 で設定したメモリ(内部／microSDHC/SDXCメモリーカード)に保存されます。
   (P.36「メモリ選択」をご覧ください)

2. ● ボタンを押します。
   LEDインジケータが点灯して録音が開始します。
   録音時間と録音可能時間が液晶画面に表示されます。

3. □ ボタンを押すと録音を終了します。

4. P.36で設定したフォルダに音声ファイルが保存されます。
   M ボタンを押すと ラジオモード に戻ります。



2.

3.

- ◆ 風の音や本体と衣服のすれる音等に注意してください。
- ◆ ボイスレコーダの音声ファイルは、個別のファイル名がついて選択したメモリのフォルダに保存されます。
- ◆ 液晶画面の表示は、設定等により異なります。

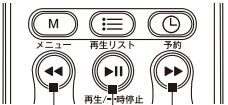
設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

録音設定

ボイスレコーダ機能の録音設定を行います。

1. ラジオモード にします。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 設定 メニューを選択し、
   ▶II ボタンを押します。
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 録音 を選択し、
   ▶II ボタンを押して サブメニュー を表示します。



左ボタン　右ボタン

再生／一時停止ボタン

1.

2.

3.

◆ 一定時間操作を行わない場合、ラジオモードに戻ります。

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

マイク感度

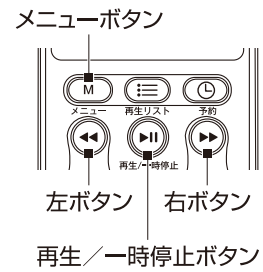
マイク感度を高／低に切り替えます。
周囲の環境等に合わせて設定します。

1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して [マイク感度] を選択し、
   ▶II ボタンを押します。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押し、下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   高 ：高感度で録音します。

   低 ：低感度で録音します。

3. 1.の画面に戻ります。
4. (M) ボタン長押しで [ラジオモード] に戻ります。



1.

マイク感度
録音品質設定
無音スキップ録音
分割録音

2.

高
低

◆ 初期設定（工場出荷時）は高です。

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

録音品質設定

録音品質設定を最高／高音質／普通に切り替えます。

1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 録音品質設定 を選択し、
   ▶II ボタンを押します。

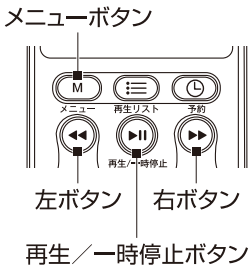
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   最　高 ：最も良い音質で録音できます。（記録形式 WAV）
   高音質 ：クリアな音質で録音できます。（記録形式 MP3）
   標　準 ：標準音質です。ラジオの長時間録音に
   適しています。（記録形式 MP3）

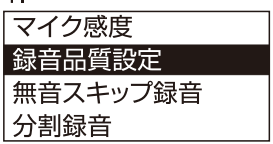
3. 1.の画面に戻ります。

4. M ボタン長押しで ラジオモード に戻ります。

◆ 初期設定（工場出荷時）は高音質です。
◆ 最高を選択すると音質は良いですが、
録音可能時間は短くなります。



1.



2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

無音スキップ録音

音を感知して録音を自動的に開始・停止する機能です。

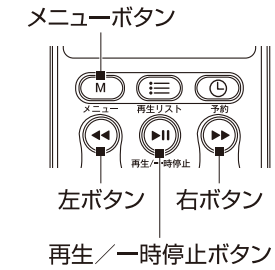
1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 無音スキップ録音 を選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   有　効 ：無音の状態を録音せずスキップします。
   無音（約55db以下）が約3秒続くと一時停止し、
   音声を感知してから
   約0.5秒後に録音を再開します。

   無　効 ：無音スキップを無効にします。

3. 1.の画面に戻ります。
4. M ボタン長押しで ラジオモード に戻ります。

◆ すべての環境で動作を保証するものではありません。
あらかじめご了承ください。
◆ 電池・メモリーの消耗にご注意ください。
◆ 初期設定（工場出荷時）は無効です。



1.

2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

分割録音

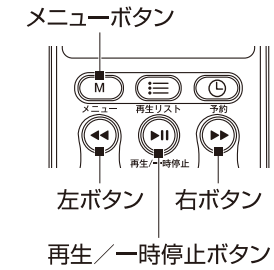
1つのファイルの録音時間の上限を設定します。
1つ目のファイルの録音時間が上限に達すると
自動で次のファイルが作成されます。

1. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して [分割録音] を選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   オフ　：1ファイルの時間制限はありません。
   30分　：1ファイルの録音時間は30分です。
   60分　：1ファイルの録音時間は60分です。

3. 1.の画面に戻ります。
4. (M) ボタン長押しで [ラジオモード] に戻ります。

◆ 初期設定(工場出荷時)はオフです。



1.

マイク感度
録音品質設定
無音スキップ録音
分割録音

2.

オフ
30分
60分

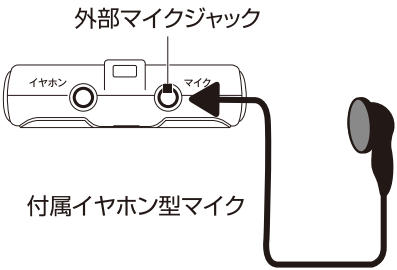
設定により表示されるアイコンは異なります。

録音する

電話を録音する

付属のイヤホン型マイクを使用して電話(通話)を録音します。

1. 付属のイヤホン型マイクをマイクジャックに差します。
2. イヤホン部分を耳に当てます。
3. 録音ボタンを押します。
4. 固定電話・携帯電話で通話してください。



◆イヤホン部分が固定電話の受話器や携帯電話に当たりますと、
その音が録音される場合がありますのでご注意ください。

◆イヤホン型マイクには、イヤホンの機能はありません。

◆大切な電話録音の前には必ず事前にテスト録音を行ってください。

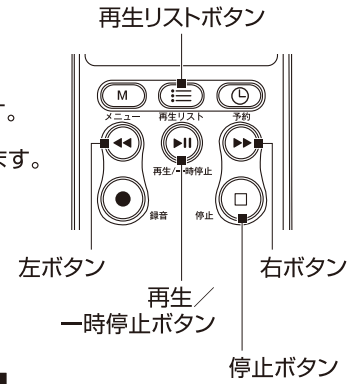
※形状は異なる場合があります。

再生

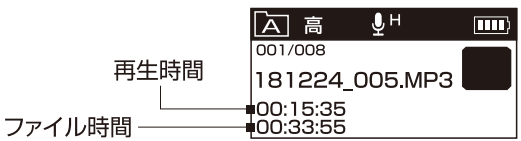
再生する

音声ファイルの再生を行います。

1. ボタンを押して 再生するフォルダ を選択します。
2. ボタンを押して再生する音声ファイルを選択します。
3. ボタンを押して再生を開始します。
   再度、ボタンを押すと再生を一時停止し、
   さらにボタンを押すと再生を再開します。



●次ページに続く



◆ 再生するメモリを内蔵メモリ／microSDHC/SDXCメモリーカードから選択する場合は、P.69「再生メニュー」をご覧ください。

設定により表示されるアイコンは異なります。

再生

●前ページからの続き

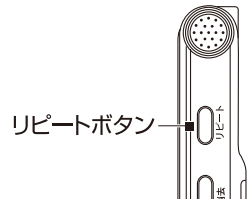
4. 再生中に(▶▶)ボタンを長押しすると、押している間、早送りします。
   (▶▶)ボタンから指を離すと通常再生します。
   (◀◀)ボタンを長押しすると、押している間、早戻します。
   (◀◀)ボタンから指を離すと通常再生します。
5. (□)ボタンを押すと再生を停止します。
6. (M)ボタンを長押しすると [ラジオモード] に戻ります

◆ 音量調整ダイヤルで再生音量を調整します。P.32「音量を調節する」をご覧ください。
再生中および再生待機中に右または左ボタンを押すと前後ファイルに移動します。

リピート(繰り返し)再生

音声ファイルを部分的に繰り返し聞く時に設定します。

1. (☰) ボタンを押し、フォルダ を選択します。
2. 再生する音声ファイルを選択します。
3. (▶II) ボタンを押して再生を開始します。
   再生中、リピートボタンを押します。
   ここが繰り返し再生の起点となります。
   液晶画面に A-B が表示されます。(Bが点滅)
4. 再生中に再度リピートボタンを押します。
   ここが繰り返し再生に終点となります。
   液晶画面に A-B が表示されます。
   起点から終点までの間を繰り返し再生します。
5. リピート(繰り返し)再生を中止する時は、
   もう一度リピートボタンを押します。通常再生になります。
   通常再生時は A-B アイコンは表示されません。



3.

A-B アイコンのBが点滅します。

4.

◆リピート(繰り返し)再生は、音楽ファイルでも使用できます。

設定により表示されるアイコンは異なります。

録音した音声を削除する

削除

不要な音声ファイルの削除を行います。

1. (☰) ボタンを押し、フォルダ を選択します。
2. 削除する音声ファイルを選択します。
3. 消去ボタンを長押しします。
4. (◀◀)(▶▶)ボタンを押して下記のいずれかを選択し、(▶II)ボタンを押して決定します。

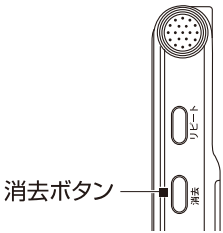
ファイルを削除する	:選択した音声ファイルを削除します。
すべて削除します	:選択しているフォルダ内のすべての音声ファイルを削除します。

5. (◀◀)(▶▶)ボタンを押して下記のいずれかを選択し、(▶II)ボタンを押して決定します。

確定	:削除します。
キャンセル	:削除しません。

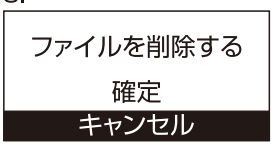
6. (M)ボタンを長押しで ラジオモード に戻ります。

◆削除すると元には戻りませんのでご注意ください。



4.

5.



設定により表示されるアイコンは異なります。

録音した音声を削除する

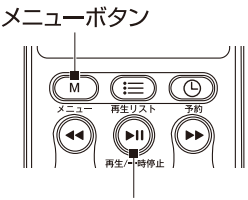
フォーマット

内蔵メモリ／micro SDHC/SDXCメモリーカードを初期化し、
内蔵メモリ／micro SDHC/SDXCメモリーカードに保存された音声データをすべて削除します。
P.28「メモリーのフォーマット」をご覧ください。

◆削除すると元には戻りませんのでご注意ください。

ラジオ機能（FMラジオ）

FMラジオを受信します。
受信帯はFM（76.0MHz～108.0MHzなります）になります。
P.33「ステレオイヤホンの使い方」および
P.34「FMラジオのアンテナについて」をご覧ください。



FMラジオを聞く

FMラジオとして機能します。

1. ラジオモード にします。
   ⏯ を押し、「FMラジオモード」にします。
2. FM→AMに切りかえるには （ M ） ボタンを押します。
3. FM／AM選択 を選択し、⏯ ボタンを押します。

●次ページに続く

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（FMラジオ）

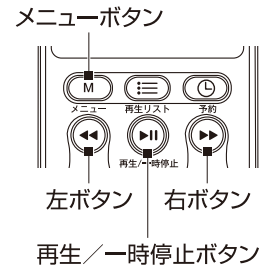
●前ページからの続き

4. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して FM を選択し、
⏯ ボタンを押します。

5. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して選局します。
1回押すごとに0.1MHz増減します。

6. ◀◀ ▶▶ ボタンを長押しすると、スキャンを開始して
受信状態の良い局で停止します。
遠出の外出先での選局に便利です。

7. ラジオ機能を終了する場合は、
M ボタンを長押しします。



4.

5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

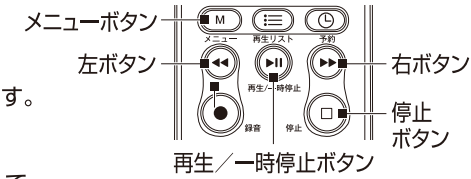
ラジオ機能（FMラジオ）

オートサーチ

現在いる地域で受信できる
FMラジオ局を自動的に選局し、プリセットします。

1. FMラジオモード にします。
2. M ボタンを押し、◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
「オートサーチ」を選択し、▶II ボタンを押します。
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
▶II ボタンを押して決定します。
確定　：受信できるFMラジオ局を選局します。
キャンセル　：選局しません。
4. 選局を終えると登録一覧が表示されます。
5. プリセットした局を呼び出す場合は、
◀◀ ▶▶ ボタンを押して希望の局を選択し、
▶II ボタンを押します。
□ ボタンを押すたびにプリセットした局を選局します。

◆オートサーチ完了までに多少時間がかかる場合がございます。



2.
FM/AM選択
オートサーチ
登録
登録削除

3.
オートサーチ?
確定
キャンセル

4.
01 FM 76.0
02 FM 77.1
03 FM -/-
04 FM -/-

ラジオ機能（FMラジオ）

登録（プリセット）

お好みの局を登録（プリセット）すると
選局が簡単になります。

1. お好みの局を選択します。
（P.49「FMラジオを聞く」をご覧ください。）

2. M ボタンを押し、◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
登録 を選択し、▶II ボタンを押します。

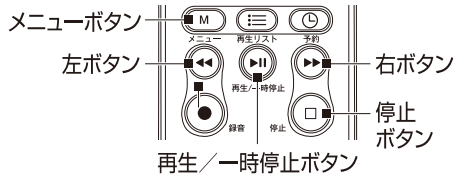
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して登録する番号を選択します。
説明として 03 を選択します。

4. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
▶II ボタンを押して決定します。

確定　：登録します。

キャンセル　：登録しません。

●次ページに続く



2.
FM/AM選択
オートサーチ
登録
登録削除

3.
01 FM 76.0
02 FM 77.1
03 FM -/-
04 FM -/-

4.
登録しますか?
確定
キャンセル

設定により表示されるアイコンは異なります。

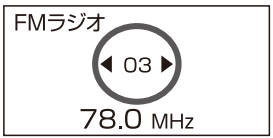
ラジオ機能（FMラジオ）

●前ページからの続き

5. 登録が完了し、03 と表示されます。

6. 登録した局を呼び出す場合は、
   ⏯ または ⏹ ボタンで選局します。
   ⏯ ボタン：押すたびに登録番号が大きくなります。
   ⏹ ボタン：押すたびに登録番号が小さくなります。

5.



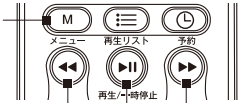
◆ 登録は最大は40局までです。
◆ AMラジオも同様な操作で登録してください。
◆ 登録は未登録（ー/ー）の番号で行ってください。
登録済の番号を選択すると、上書きされます。

設定により表示されるアイコンは異なります。

登録局を削除します

プリセットした局を削除します。

1. プリセットした局を呼び出します。
2. (M) ボタンを押し、(◀◀)(▶▶) ボタンを押して、
   登録削除 を選択し、(▶II) ボタンを押します。
3. (◀◀)(▶▶) ボタンを押し、削除する局を選択します。
4. (▶II) ボタンを押し、(◀◀)(▶▶) ボタンを押して、
   下記のいずれかを選択し、(▶II) ボタンを押して決定します。
   - 確定　：登録局を削除します。
   - キャンセル　：削除しません。
5. FMラジオモード に戻ります。



2.
FM/AM選択
オートサーチ
登録
登録削除

3.
01 FM 76.0
02 FM 77.1
03 FM 78.0
04 FM 79.0

4.
登録削除?
確定
キャンセル

◆ 削除すると元には戻りませんのでご注意ください。

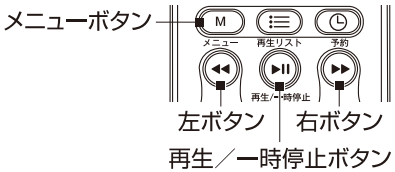
設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（FMラジオ）

全ての登録局を削除します

プリセットした局をすべて削除します。

1. FMラジオモード にします。
2. M ボタンを押し、◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   全て削除 を選択し、▶II ボタンを押します。
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。
   - 確定　　：局をすべて削除します。
   - キャンセル：削除しません。
4. FMラジオモード に戻ります。



2.

3.

◆ 削除すると元には戻りませんのでご注意ください。

設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（FMラジオ）

FMラジオを録音する

今聞いているFMラジオを録音します。

1. 選局されている番組を録音します。
2. ● ボタンを押します。録音が開始します。
3. 録音を終了する場合は、□ ボタンを押して終了します。

2.

録音されたラジオ番組の
ファイル番号

◆ 事前に選択したフォルダに保存されます。ファイル番号を確認してください。
再生するときにファイル番号で選択します。

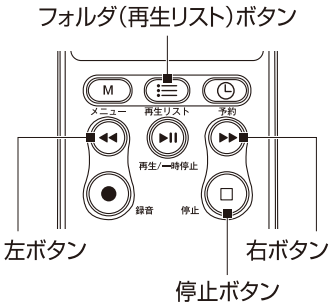
設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（FMラジオ）

録音したFM番組ファイルを再生する

録音したFM番組ファイルの再生を行います。

1. ラジオモード にします。
2. 再生リストボタンで希望のフォルダを選択します。
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して
   再生するFM番組ファイルを選択します。
4. ▶II ボタンを押して再生を開始します。
   再生中、▶II ボタンを押すと再生を一時停止し、
   再度、▶II ボタンを押すと再生を再開します。
5. 再生中に ▶▶ ボタンを長押しすると、押している間、早送りします。
   ▶▶ ボタンから指を離すと通常再生します。
   ◀◀ ボタンを長押しすると、押している間、早戻します。ボタンから指を離すと通常再生します。
6. □ ボタンを押すと再生を停止します。

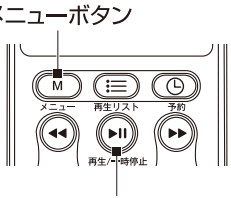


◆ 音量調整ダイヤルで再生音量を調整します。P.32「音量を調節する」をご覧ください。
再生中および再生待機中に ◀◀ ▶▶ ボタンを押すと前後ファイルに移動します。

ラジオ機能（AMラジオ）

AMラジオを受信します。
受信帯はAM（522KHz～1629KHzなります）になります。
AMにしたときは約5秒で液晶表示が消えます。
この時、いずれかのボタンを押すと液晶は再表示されます。

液晶が消えた状態から電源をオフにするには、
液晶を再表示させて、電源ボタンを長押ししてください。



AMラジオを聞く

AMラジオとして機能します。

1. ラジオモード にします。
   ⏯ を押し、「FMラジオモード」にします。
2. FM→AMに切りかえるには （M） ボタンを押します。
3. FM／AM選択 を選択し、⏯ ボタンを押します。

●次ページに続く

1.

3.

設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（AMラジオ）

●前ページからの続き

4. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して AM を選択し、
▶II ボタンを押します。

5. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して選局します。
1回押すごとに増減（9KHzステップ）します。

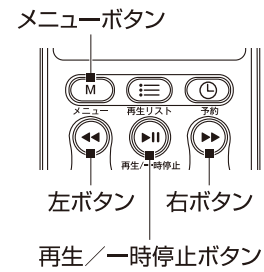
6. ◀◀ ▶▶ ボタンを長押しすると、スキャンを開始して
受信状態の良い局で停止します。
遠出の外出先での選局に便利です。

7. ラジオ機能を終了する場合は、
M ボタンを長押しします。

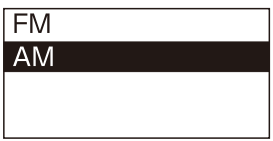
◆ AMラジオの場合、内蔵アンテナが小型ですので
受信感度の良い窓際等で、
本体の向きを調整して使用してください。

◆ 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。
テレビやパソコン等の近くには置かないでください。

◆ 携帯電話等に近づけると雑音の原因となりますので
離してお使いください。



4.



5.

設定により表示されるアイコンは異なります。

ラジオ機能（AMラジオ）

オートサーチ

FMラジオと操作が同じです。P.51「オートサーチ」をご覧ください。

登録（プリセット）

FMラジオと操作が同じです。P.52「登録（プリセット）」をご覧ください。

登録局を削除します

FMラジオと操作が同じです。P.54「登録局を削除します」をご覧ください。

全ての登録局を削除します

FMラジオと操作が同じです。P.55「全ての登録局を削除します」をご覧ください。

AMラジオを録音する

FMラジオと操作が同じです。P.56「FMラジオを録音する」をご覧ください。

録音したAM番組ファイルを再生する

FMラジオと操作が同じです。P.57「録音したFM番組ファイルを再生する」をご覧ください。

予約(タイマー)録音

予約録音

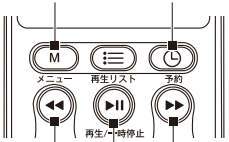
音声･FMラジオ･AMラジオを予約(タイマー)録音します。
音声･FMラジオ／AMラジオ共に設定方法は同じです。
ここでは例としてFMラジオの予約録音方法を説明します。

1. 電源をオンします。[ラジオモード]で起動します。
2. (予約)ボタンを押します。
3. 液晶画面に[予約設定]画面が表示されます。
   (◀◀)(▶▶)ボタンで 予約開始 を選択し、
   (▶II)ボタンを押します。
4. (◀◀)(▶▶)ボタンを押して、日付け を選択し、
   (▶II)ボタンを押します。

●次ページに続く

メニューボタン　予約ボタン

2.



左ボタン　右ボタン

再生／一時停止ボタン

3.

予約開始
録音ソース
録音時間

4.

日付け
時間

設定により表示されるアイコンは異なります。

予約(タイマー)録音

●前ページからの続き

5. 年 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
⏯ ボタンを押して「月」に移行します。

6. 月 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
ボタンを押して「日」に移行します。

7. 日 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定します。

8. M ボタンを押して4.の画面に戻ります。
◀◀ ▶▶ ボタンを押して「時間」を選択し、
⏯ ボタンを押します。

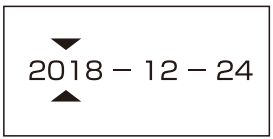
9. 時 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定し、
⏯ ボタンを押して「分」に移行します。

10. 分 を設定します。◀◀ ▶▶ ボタンを押して設定します。

11. M ボタンを押します。

●次ページに続きます。

5.



8.

9.

 設定により表示されるアイコンは異なります。

予約（タイマー）録音

●前ページからの続き

12. M ボタンを押します。
⏮⏭ボタンを押して「録音ソース」を選択し、
⏯ ボタンを押します。
下記のいずれかを選択し、⏯ ボタンを押します。

VOICE：音声を録音します。

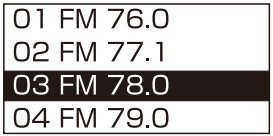
FM：FM放送を録音します。
プリセットされている放送局を選択し、
⏯ ボタンを押します。

AM：AM放送を録音します。
プリセットされている放送局を選択し、
⏯ ボタンを押します。

●次ページに続きます。

◆FM／AM共、録音したい放送局を
事前に登録しておいてください。

12.



設定により表示されるアイコンは異なります。

予約(タイマー)録音

●前ページからの続き

13. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して「録音時間」を選択し、
⏯ ボタンを押します。
下記のいずれかを選択し、⏯ ボタンを押します。

30分	:予約開始時刻から30分録音します。
60分	:予約開始時刻から60分録音します。
90分	:予約開始時刻から90分録音します。
120分	:予約開始時刻から120分録音します。
制限なし	:予約開始時刻から制限なく録音します。

●(micro SDHC/SDXCメモリーカードの空き容量、
電池残量にご注意ください)

13.

●次ページに続きます。

予約(タイマー)録音

●前ページからの続き

14. (M) ボタンを押します。
[ラジオモード] 表示に戻ります。

◆ 予約(タイマー)設定後、電源を切ってから予約録音が開始された場合は、
録音データの記録先がフォルダA(固定)になります。

◆ 予約(タイマー)録音の設定が完了後に電源オフしても予約録音は実行されます。
この場合、録音が終了すると電源は自動的にオフになります。

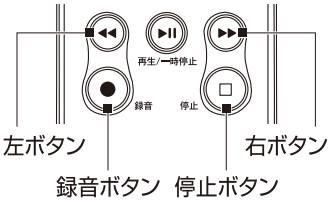
◆ 設定は (M) ボタンを押すことで決定されます。
停止ボタンで戻すと設定は変更されません。

◆ 予約録音設定後、電源を切ると予約録音データは自動的にフォルダAに録音されます。

◆ 予約録音設定後、通電のままの状態であれば予約録音データは選択中のフォルダに
録音されます。

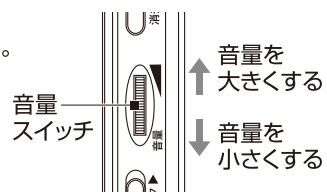
簡易集音

イヤホン装着状態でボリュームを可変して
周りの音声を大きく聞けるモードです。



1. イヤホンを装着します。
   ◀◀ ▶▶ ボタンを押して 集音 を選択します。
2. ▶II ボタンを押します。
   LEDインジケーターは点灯せず、集音モード になります。
3. 音量スイッチをスライドし、音量を調節します。
4. 集音モード を終了する場合は、
   □ ボタンを押します。
5. ラジオモード に戻ります。
6. 集音モードでの音声を録音するには ● ボタンを押します。
   録音中はLEDインジケーターが点灯します。
7. 録音を終了するには □ ボタンを押します。
8. M ボタンを押すと、ラジオモード に戻ります。

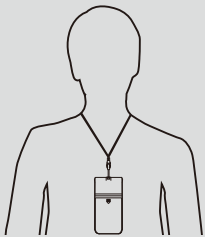
簡易集音画面



 設定により表示されるアイコンは異なります。

簡易集音

- 本製品は医療用機器ではございません。
- 本製品を首からかけてご使用になる場合、本機の液晶画面がご自身に向いた状態でお使いになると、左右のイヤホンから聞こえる音はマイクの向きと同じになります。（右図参照）
  本製品の向きを右図と裏表にすると、イヤホンから聞こえる音は左右逆になりますのでご注意ください。



正しい装着の仕方

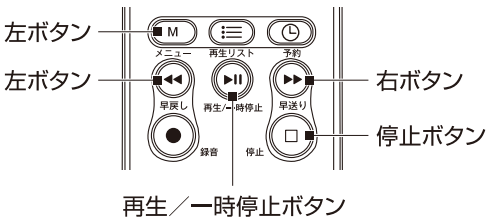
- 本製品の使用中に何らかの聴力支障が表れた場合、ただちに使用を中止してください。
- 本製品の使用して皮膚のかぶれや湿疹が表れたときはただちに使用を中止してください。放置すると症状悪化の恐れがあります。
- 必要以上に大きな音で聞かないでください。耳を痛める恐れがあります。
- 乳幼児や自分で意思表示できない人には使用しないでください。事故やトラブルの原因になります。
- 就寝時に使用しないでください。事故や体調不良の恐れがあります。

モード設定

モード設定

本機のモード設定を行います。

1. 電源をオンにします。 ラジオモード で起動します。
2. ⏮⏭ ボタンを押すとモードが変更されます。P.18「モード変更」をご覧ください。
3. 設定するモードを選択し、
   ⏯ ボタンを押してサブメニューを選択し、項目へ移動します。



ラジオ設定

ラジオの設定を行います。P.49～P.60「ラジオ機能」をご覧ください。

モード設定

再生メニュー

本機のフォルダに保存された音声ファイルを再生します。

1. ラジオモード から ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   再生メニュー を選択します。
2. ▶II ボタンを押してサブメニューを選択し、
   ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押します。

   内蔵メモリ ：本機の内蔵メモリのフォルダを選択します。

   SDカード ：micro SDHC/SDXCメモリーカード内の
   フォルダを選択します。
3. フォルダ選択画面が表示されます。◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   再生するファイルが保存されているフォルダを選択し、
   ▶II ボタンを押します。
4. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、再生するファイルを選択し、
   ▶II ボタンを押します。再生が開始されます。
5. □ ボタンを押したあと、 M ボタンを押すと
   ラジオモード に戻ります。

1.

2.

3.

4.

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

設定

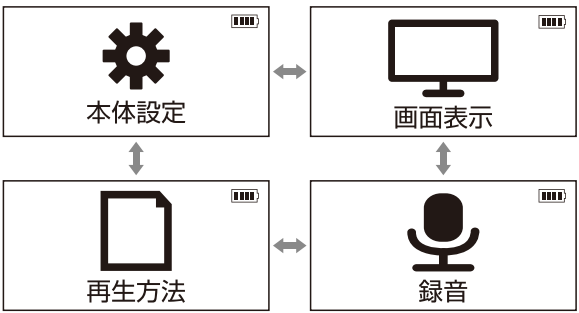
本機の機能設定を行います。

1. ラジオモード から ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   設定 を選択します。
2. ▶II ボタンを押します。本体設定 が表示されます。
3. ◀◀ ▶▶ ボタンを押すと、設定項目が下図のように切り替わります。

1.

2.

3.



●次ページに続く

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

本体設定

本機の機能設定を行います。

1. ラジオモード から ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   設定 を選択します。
2. ▶II ボタンを押します。本体設定 が表示されます。
   再度、▶II ボタンを押します。
3. サブメニュー が表示されます。

1.

2.

3.

日付け／時間

P.19「日付／時刻の設定」をご覧ください。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

自動オフ

何も操作をしない場合、電源を自動的にオフにします。

1. 自動オフ を選択し、(▶II) ボタンを押します。
2. (◀◀)(▶▶) ボタンを押して下記のいずれかを選択し、(▶II) ボタンを押して決定します。

   5分 : 何も操作をしない場合、5分で電源がオフになります。

   15分 : 何も操作をしない場合、15分で電源がオフになります。

   30分 : 何も操作をしない場合、30分で電源がオフになります。

   60分 : 何も操作をしない場合、60分で電源がオフになります。

3. 1.の画面に戻ります。(M) ボタンを長押しすると [ラジオモード] に戻ります。

1.

日付け･時間
自動オフ
メモリの初期化
録音ランプ

2.

5分
15分
30分
60分

◆ 初期設定(工場出荷時)は5分です。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

メモリーの初期化

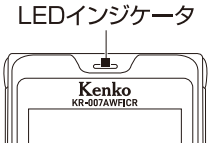
P.28「メモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

録音ランプ

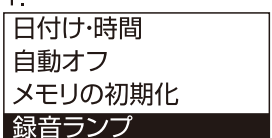
音声ファイルを録音中、LEDインジケーターを点灯します。

1. 録音ランプ を選択し、⏯ ボタンを押します。
2. ⏪⏩ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、⏯ ボタンを押して決定します。
   - オン ：録音中、LEDインジケータを点灯します。
   - オフ ：LEDインジケータを点灯しません。
3. 1.の画面に戻ります。
   M ボタンを長押しすると
   ラジオモード に戻ります。

◆ 初期設定（工場出荷時）はオンです。



1.



2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

操作音

本機の操作音を設定します。

1. 操作音 を選択し、⏯ ボタンを押します。
2. ⏮⏭ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、⏯ ボタンを押して決定します。

   オン ：操作音あり。

   オフ ：操作音なし。
3. 1.の画面に戻ります。

   M ボタンを長押しすると ラジオモード に戻ります。

◆ 初期設定（工場出荷時）はオンです。

設定により表示されるアイコンは異なります。

メモリ選択

P.36「メモリ選択」をご覧ください。

モード設定

システム関連

本機の情報を確認できます。

1. システム関連 を選択し、(▶II) ボタンを押します。
2. (◀◀)(▶▶) ボタンを押して下記のいずれかを選択し、(▶II) ボタンを押して決定します。

メモリ使用状況

本機の内部メモリーの情報を確認できます。

1. メモリ使用状況 を選択し、(▶II) ボタンを押します。
2. (◀◀)(▶▶) ボタンを押して下記のいずれかを選択し、(▶II) ボタンを押して決定します。

   使用容量 ：内部メモリーの容量

   空き容量 ：内部メモリで使用できる残りのメモリー容量

3. (M) ボタンを押して1.の画面に戻ります。

設定により表示されるアイコンは異なります。

FWバージョン

本機のバージョンを表示。

1. システム関連 を選択し、⏯ ボタンを押します。
   FWバージョン を選択し、⏯ ボタンを押すと、
   FWバージョンが約3秒表示され
   元の画面に戻ります。

1.

設定により表示されるアイコンは異なります。

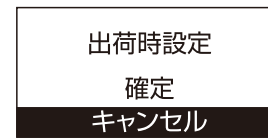
出荷時設定

本機を工場出荷時の設定に戻します。

1. 出荷時設定 を選択し、⏯ボタンを押します。
2. ⏪⏩ボタンを押して下記のいずれかを選択し、⏯ボタンを押して決定します。
   - 確定 ：工場出荷時設定に戻します。
   - キャンセル ：工場出荷時設定に戻しません。
3. 1.の画面に戻ります。
   Ⓜ ボタンを長押しすると
   ラジオモード に戻ります。

1.

2.



- 出荷時設定に戻すと、日付／時刻設定も出荷時設定に戻りますのでご注意ください。
- この操作でメモリに録音されたデータは消えません。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

画面表示

液晶画面の設定を行います。

言語

言語を選択します。

1. 画面表示を選択し、◀◀ ▶▶ ボタンを押して、
   言語 を選択し、▶II ボタンを押します。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して、使用する言語を選択し、
   ▶II ボタンを押します。
3. 1.の画面に戻ります。
   M ボタンを長押しすると ラジオモード に戻ります。

◆ 初期設定(工場出荷時)は日本語です。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

コントラスト

液晶画面のコントラストを調整します。

1. 画面表示 を選択し、⏮⏭ ボタンを押して
   コントラスト を選択し、⏯ ボタンを押します。
2. ⏮⏭ ボタンを押してコントラストを調整します。
   ⏭ ボタンを押すとコントラストが強くなり、
   ⏮ ボタンを押すとコントラストが弱くなります。
3. M ボタンを押すと1.の画面に戻ります。
   M ボタンを長押しすると
   ラジオモード に戻ります。

1.

2.

◆ 初期設定(工場出荷時)は8です。

設定により表示されるアイコンは異なります。

バックライト

液晶画面のバックライトの点灯時間を調整します。

1. 画面表示 を選択し、⏮⏭ ボタンを押して
バックライト を選択し、⏯ ボタンを押します。

2. ⏮⏭ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
⏯ ボタンを押して決定します。

10秒 : 何も操作をしない場合、
10秒でバックライトが消灯します。

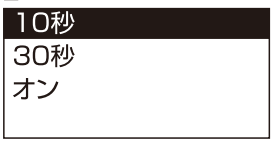
30秒 : 何も操作をしない場合、
30秒でバックライトが消灯します。

オン : 常にバックライトを点灯します。

3. M ボタンを押すと1.の画面に戻ります。
M ボタンを長押しすると ラジオモード に戻ります。

1.

2.



◆ 初期設定(工場出荷時)は10秒です。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

録音

ボイスレコーダ機能の録音設定を行います。

マイク感度

P.39「マイク感度」をご覧ください。

録音品質設定

P.40「録音品質設定」をご覧ください。

無音スキップ録音

P.41「無音スキップ録音」をご覧ください。

分割録音

P.42「分割録音」をご覧ください。

設定により表示されるアイコンは異なります。

モード設定

再生方法

録音した音声ファイルの設定を行います。

リピート

録音した音声ファイルを
リピート(繰り返し)聞くことができます。

1. 再生方法 を選択し、◀◀ ▶▶ ボタンを押して
   リピート を選択し、▶II ボタンを押します。
2. ◀◀ ▶▶ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
   ▶II ボタンを押して決定します。

   ファイル　:選択中のファイルをリピートします。

   フォルダ　:選択中のフォルダ内のすべてのファイルを
   リピートします。

   ランダム　:選択中のフォルダの全てのファイルを
   ランダムに再生します。

   オフ　:リピートしません。

1.

2.

●次ページに続きます。

設定により表示されるアイコンは異なります。

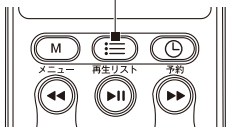
モード設定

●前ページからの続き

3. 1.の画面に戻ります。
(M) ボタンを長押しすると [ラジオモード] に戻ります。

4. (☰) ボタンを押して目的のフォルダを選択します。
(⏯) ボタンを押してファイルを再生します。
リピートで選択した方法で再生されます。

再生リストボタン



4. ファイル

4. フォルダ

4. ランダム

◆初期設定(工場出荷時)はオフです。

設定により表示されるアイコンは異なります。

ファイルの保護

録音した音声ファイルを保護します。
再生リストボタンで保護したいファイルを選択しておきます。

◆ 再生リストを表示しても、保護されたファイルに
アイコンなどは表示されませんのでご了承ください。

1. 再生方法 を選択し、⏮⏭ ボタンを押して
ファイルの保護 を選択し、⏯ ボタンを押します。
2. ⏮⏭ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
⏯ ボタンを押して決定します。
保護 ：選択中のファイルを保護します。
保護を解除 ：ファイルの保護を解除します。
3. 1.の画面に戻ります。
M ボタンを長押しすると
ラジオモード に戻ります。

1.

2.

設定により表示されるアイコンは異なります。

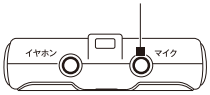
AV機器との接続

AV機器との接続

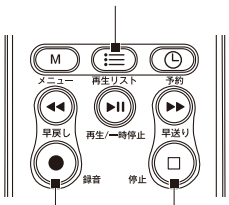
本機とAV機器（CDプレーヤー等）を
付属のAV接続ケーブルで接続して
音楽（アナログ）データを取り込みます。

1. 本機とCDプレーヤー等の電源をオンします。
2. 別売のAV接続ケーブルを本機の外部マイクジャックに、
   もう一方をCDプレーヤーのイヤホン端子に接続します。
3. フォルダを選択（P.36「メモリ選択」をご覧ください）し、
   録音ボタンを押します。録音が開始されます。
   この時、ファイル番号を確認してください。
   音楽を再生するときに選曲を容易にします。
4. CDプレーヤー等を再生します。
5. 録音を終了する場合は、停止ボタンを押してください。

外部マイクジャック



フォルダ（再生リスト）ボタン



録音ボタン 停止ボタン

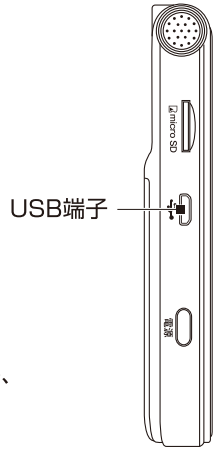
◆ 音楽以外にもテレビの音声を同様に録音できます。

パソコンとの接続

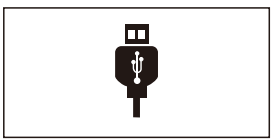
パソコンとの接続

本機とパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続して
デジタル音楽データをパソコンから取り込みます。

1. パソコンの電源をオンします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子（マイクロB）を
   本機のUSB端子に接続、
   大きいUSB端子をパソコンのUSB端子にします。
3. 液晶画面に「 」アイコンが表示されます。
4. パソコンの音楽データ
   WAV、MP3ファイルをコピーし、本機のA～Dのフォルダを選択し、
   貼りつけてください。



3.



設定により表示されるアイコンは異なります。

故障かなと思ったら

こんなときは

電源が入らない

原因	対策
電池の取り付け方向は間違っていませんか?	⊕⊖を確認し、正しい方向でセットしてください。 (P.14参照)
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。 (P.15参照)
動作がおかしい。	電池を一旦抜いて、再度入れ直してください。

音声がイヤホンから聞こえない

原因	対策
イヤホンがきちんと奥まで差さっていない。	イヤホンプラグを持って 奥まできちんと差し込んでください。
イヤホンを外部マイクジャックに差している。	イヤホンはイヤホン端子に差し込んでください。
音量が小さい。	音量を大きくしてください。

故障かなと思ったら

FMラジオの音がよく聞こえない

原因	対策
イヤホンが挿さっていない。	イヤホンはアンテナの代わりになるので、 イヤホンジャックまたは外部マイクジャックに 奥まできちんと差し込んでください。
イヤホンコードを小さくたたんでいる。	イヤホンのコードは 出来るだけ伸ばしてください。 また、他の電気製品から離してください。

AMラジオの音がよく聞こえない

原因	対策
アンテナの向きが合っていない	本体を色々な向きに変えてみてください。
聞く場所に問題がある	出来るだけ窓際で聞いてください。 また、他の電機製品から離してください。

故障かなと思ったら

録音ができない

原因	対策
録音ボタンを押すと カギのアイコンが出る	ロックスイッチをオフにしてください。 (P.31参照)
録音時間、録音件数が いっぱいになっている。 (保存ファイルは1フォルダ200までです)	いくつかのファイルを削除してください。
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。 (P.15参照)

再生ができない

原因	対策
再生ボタンを押すと カギのアイコンが出る	ロックスイッチをオフにしてください。 (P.31参照)
電池残量は充分ですか?	新しい乾電池に交換してください。 (P.15参照)

故障かなと思ったら

ハウリング(ピーピー音)がする

原因	対策
イヤホンとマイクが近い位置にある。	イヤホンとマイクを離してください。

操作ができない

原因	対策
どのボタンを押しても カギのアイコンが出る	ロックスイッチをオフにしてください。 (P.31参照)

仕様

製品仕様

液晶	1.8インチLCD、バックライトつき
内蔵メモリ	4GB
外部メモリ	microSDHCカード：4GB-32GB （スピードクラス6以上） microSDXCカード：64GB
ラジオ	オートスキャン FM：76-108MHz AM：522-1629kHz
簡易集音	最大音響利得：20±5dB 基準周波数　：1600Hz
スピーカー	楕円型 30×20mm　1W　8Ω
出力端子	イヤホン端子　：φ3.5mm　ステレオ
入力端子	外部マイク端子：φ3.5mm　ステレオ
最大出力	スピーカー：0.18W イヤホン　：0.06W

電源	単4アルカリ電池×2本（別売）
最大録音時間	録音モード（4GB） 最高　：WAV 1536Kbps 5時間50分 高音質：MP3 192kbps 47時間30分 普通　：MP3 128kbps 71時間15分（目安）
保存ファイル数	1フォルダ　　：200ファイル 4フォルダ合計：800ファイル
連続使用時間	ラジオ　　：7.5時間 ファイル再生：12.5時間 （目安です。使用する電池、環境条件等により変化します）
外寸	約116（H）×57（W）×19（D）mm
質量	約72g（本体のみ）
同梱品	本体、イヤホン、イヤホン型マイク USB-PC接続ケーブル、取扱説明書

仕様

パソコンの動作環境

本体とパソコンをUSB接続にて使用する場合、以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン

Windows対応OS	
7(32/64bit)／8(32/64bit)／8.1(32/64bit)／10(32/64bit)	
CPU	Intel Pentium 4/2GHz 以上
メモリー	2GB 以上
インターフェース	USB2.0

Macintosh対応OS	
Mac OSX 10.7.5～10.13.6	
CPU	Intel Core i3 1.60GHz以上
メモリー	2GB 以上
インターフェース	USB2.0

仕様

動作保証について

●上記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。
ご使用のOSに対応した動作環境が必要になります。

●動作環境を満たすパソコンの中でも、
一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。

●USBハブや拡張USBポートに接続した状態での使用、
自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

◎SDHC／SDXCメモリーカードによっては使用できないものがあります。

◎記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

◎仕様や外観は製品改良等のため予告なく変更をする場合もありますのでご了承ください。

仕様

電池寿命

ラジオ	7.5時間
ファイル再生	12.5時間

◆使用するアルカリ乾電池のメーカ、型番等により電池寿命は異なります。
上記の電池寿命は、目安とお考えください。

メモ

メモ

保証規定

保　証　規　定

保証期間:お買上げ日より1年間

(1) 修理の際は必ずお買上げ店舗のレシートを添付のうえ、ご購入店またはケンコー・トキナーお客様相談室までお申し付けください。

(2) お買上げ店舗のレシートの添付なき場合は有料修理となります。

(3) 正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。(下記①～⑧など)
- ①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障
- ②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障
- ③火災や浸水・天災によって生じた故障
- ④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障
- ⑤その他類似的起因による故障
- ⑥消耗品(LED等)のお取り替え
- ⑦落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などによる故障
- ⑧個人売買およびオークションなどでご購入の場合

(4) ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。

(5) レシートは大切に保管してください。

(6) 修理品に送料が掛かった場合はお客様にてご負担です。

(7) 当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証しません。メモリーの破損やデータの消失などに関しては一切の責任を負いかねます。

(8) 出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

(9) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

(10) 本保証は保証規定により無償修理を約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

[お願い]
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※本保証を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

- ●お客様の承諾を得た場合。
- ●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。

ケンコー・トキナーお客様相談室

KR-007AWFICRについてのお問い合わせは

フリーコール(無料) ※海外からおよびIP電話では接続できません

0120-775-818

携帯電話・PHS・IP電話をご利用の場合

03-6840-3389

(通話料がかかります)

●受付時間 9:15～17:30 (土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏季休業等を除く)

※本ダイヤルでの通話は、応対品質向上のため録音させていただいております。

Kenko Tokina Co., Ltd.

株式会社 ケンコー・トキナー

ホームページ https://www.kenko-tokina.co.jp/

本　社 〒164-8616 東京都中野区中野5-68-10 KT中野ビル

Ver.1.3